

- [復習] ・時間がなかったので、十分な準備がでなかった。
・試験のことが気になって、なかなか眠れなかった。
・事故があったために、道路が渋滞した。

1 ～によって

⇒～が原因で、ある結果になる・～という手段や方法であることをする。【硬い言い方】

- ①今朝、中央線は踏切内で起きた事故によって、ダイヤが大きく乱れた。
②会長が交替したことによって、会の雰囲気が大きく変わった。
③この地方は毎年台風による被害が出ている。
④仕事をコンピューター化することにより、労働力不足は解決できるのではないか。
⑤可否の結果は後日書面で連絡します。電話による問い合わせは受け付けません。

名 + によって

名 + による + 名

- ⚠ 手段の意味では、日常的な道具など(電話・ペン・電車など)を個人的に使う場合は使いにくい。
⑤のように名詞を説明する形では使える。

2 ～ものだから・～もので・～もの

⇒「～ので…」と言い訳をする。【話し言葉】

- ①すみません。昨日はちょっと熱があったものですから、お休みしました。
②このところ忙しかったもので、お返事が遅れてしまいました。ごめんなさい。
③わたし、近眼なもんで、お顔がよく見えなかったんです。失礼しました。
④あの人の言うことはよくわからないよ。言葉が難しいんだもの。

普通形(ナ形)だ-な・名だ-な + ものだから・もので

普通形 + もの

- ⚠ 個人的な言い訳を言う。後に命令や意向を表す文は来ない。「もの」は主に文末に使い、特に女性や子供が多く使う。「ものだから・もので」の後の文も、省略されることがある。「もんだから・もんで・もん」は、さらにくだけた言い方。

3 ～おかげだ/～せいだ

⇒～の影響で、いい結果/悪い結果になった。

- ①わたしが東西大学に合格できたのは、山川先生のおかげです。ありがとうございました。
②佐藤さんが丁寧にチェックしてくださったおかげで、いいレポートができました。
③いい天気が続いているおかげで、工事が思ったより早く進んでいます。
④父は最近口数が少ない。疲れているせいかもしれない。
⑤今年の春は気温が低い日が多かったせいで、桜の開花が遅い。
⑥値段のせいか、この商品は売れ行きが悪い。

名-の・動・形 普通形(ナ形)だ-な + おかげだ/せいだ

- ⚠ 「～おかげで」の後にはいい結果を表す文、「～せいで」の後には良くない結果を表す文が来る。話者の意向を表す文や働きかけの文は来ない。

4 ～あまり・あまりの～に

⇒とても～ので、普通ではない結果になってしまった。

- ①自分の番が近づいてきたとき、わたしは緊張のあまり頭の中が真っ白になってしまった。
②当然勝つと思っていた試合で最後に逆転負けし、悔しさのあまりぼろぼろ泣いた。
③仕事を早く片付けようと急いだあまり、いくつかミスをしてしまった。
④10年ぶりで兄に会った。兄のあまりの変化に言葉が出なかった。

名-の・動・形 普通形肯定(ナ形)だ-な + あまり

あまりの + 名 + に

- ⚠ 後には、普通でない結果(悪い結果が多い)を表す文が来る。話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない。

5 ～につき

⇒「～の理由で、ある状態になる」と公に知らせる。【硬い言い方】【書き言葉】

- ①トイレはただ今清掃中につき、ご利用になれません。
②強風につき、この門は閉鎖中です。
③本日は祝日につき、閉鎖しております。

名 + につき

- ⚠ 現時点での状況を表す言葉につく。張り紙や公式文書などに使う。

1

- 1 結果については()によりお知らせします。
 a 手紙 b 文書 c 電話
- 2 この薬は、20回以上の実験()効果が証明された。
 a によって b による c によつての
- 3 この地震()津波の心配はありません。
 a によって b による c によつての
- 4 事故の原因は運転手の不注意()信号無視だった。
 a から b による c によつて
- 5 中川先生と出会ったことによって、わたしは()。
 a うれしかった b たいへん良かった c 大きく変わった

2

- 1 A「どうしてこれ、食べないの？」
 B「だって、()。ぜんぜん食べられないよ。」
 a 大嫌いなもの b 大嫌いなんだもの c 大嫌いであるもの
- 2 朝ご飯を食べなかったものだから、()。
 a おなかですいてきた b 早く昼ご飯にしよう c ここで食べてもいいですか
- 3 ちょっと寒いんです。()もので。
 a 冬になった b 気温が8度な c シャツ1枚しか着ていない

3

- 1 田中さんの()、楽しい旅行ができました。ありがとうございました。
 a おかげで b おかげさまで c おかげか
- 2 体力がついてきたおかげで、これからは()。
 a 頑張ろう b 頑張れる c 頑張ることにした
- 3 来客が多かったせいで、とても()。
 a 良かった b 楽しかった c 疲れた
- 4 この夏、気温が上がらなかった()、ぶどうが甘くない。
 a せいで b おかげで c おかげか

4

- 1 結論を()あまり、相手を怒らせてしまった。
 a 急いだ b 急いだの c 急いで
- 2 わたしが書いた小説が入選した。その晩はうれしさのあまり()。
 a よく眠った b よく眠れなかった c 少し眠った
- 3 お祭りの後はごみがいっぱいだった。あまりの汚さに()。
 a 良くないと思う b 気分が悪くなった c すぐ掃除をしてください
- 4 沖縄の海は本当にきれいだった。あまりの美しさに()。
 a ぼーっとしてしまった b よく見た c とてもうれしかった

5

- 1 ただ今()につき、入室はご遠慮ください。
 a 忙しい b 仕事 c 録音中
- 2 雨天につき、()。
 a 今日では出かけたくない b 本日の野球の試合は中止とする c 今日では外出はやめよう
- 3 このプリンターは故障につき、()。
 a わたしが直しましょうか b 直してくださいよ c 使用できません

1~5

- 1 あの議員は不注意な発言()人気がなくなってしまった。
 a によって b のあまり c につき
- 2 わたしたちのチームがとうとう優勝した。感激の()、涙が出た。
 a せいで b おかげで c あまり
- 3 工事中()、この道は通行止めです。
 a なものだから b のあまり c につき
- 4 ミスをしないようにと気にする()、つい消極的になってしまう。
 a おかげで b あまり c もの
- 5 ()、本日の野外写生会は延期させていただきます。
 a 悪天候のため b 悪天候なもので c 悪天候のせいで

1 ～ことだし

⇒ほかに理由はあるが、とにかく～だからあることをする。【話し言葉】

- ①来週はお客様が来ることだし、家の中の大掃除をしなくちゃ。
- ②雨もやんだことだし、ちょっとジョギングしてこようかな。
- ③こちらのおなべは値段も安いことだし、お一ついかがでしょうか。
- ④あしたはお父さんも休みのことだし、みんなで買い物でも行かない？

普通形(ナ形)だ-な/-である・(名)だ-の/-である) +ことだし

⚠ 後には、話者の判断・希望・意向を表す文や働きかけの文などが来る。

2 ～のことだから

⇒～の性格や普段の態度から考えると、あることが推量される。

- ①頑張り屋のみち子のことだから、きっと今度のテストでもいい点をとりますよ。
- ②いつもみんなを笑わせていたカンさんのことだから、国に帰ってもまた人気者になると思いますよ。
- ③太郎の帰りが遅いね。でも、あの子のことだ。どこかの本屋で立ち読みでもして時間が経つのを忘れているんだろう。

普通形(名) +のことだから

⚠ 主に人を表す言葉につく。後には、話者の推量・判断などを表す文が来る。③のように文末に使うこともある。

3 ～だけに

⇒～だから、ある状態なのは当然だ・普通の場合よりもっとある状態になる。

- ①あそこは有名レストランだけに、客に出した料理に問題があったとわかったときは大ニュースになった。
- ②母は花が好きなのに、花をもらおうと大喜びする。
- ③父はよく話す人だっただけに、いなくなった後、いつそう寂しさを感じる。
- ④祖父はよく山登りをするが、年が年だけに、無事に帰ってくるまで心配だ。

普通形(名)・普通形(ナ形)だ-な/-である・(名)-である) +だけに * (名)だの形には接続しない。

⚠ 後には、「～」という理由にふさわしい程度や状態を表す文が来る。働きかけの文は来ない。

④の「～が～だけに」は、「～の程度が普通ではないから」という意味の言い方。

4 ～ばかりに

⇒～が原因で、予期しない悪い結果になった・どうしても～ということを実現したいので、普通ではないことをした。

- ①ちょっと大工の経験があるばかりに、いろいろな仕事を頼まれてしまう。
- ②家のかぎを忘れて出かけたばかりに、家族が帰ってくるまで家に入れなかった。
- ③遅刻の回数がちょっと多かったばかりに、推薦状を書いてもらえなかった。
- ④山頂から一目の山小屋を出て2時間も歩いたのだ。
- ⑤テレビで見たこの村の人たちに会いたいばかりに、はるばる日本からやって来た。

普通形(ナ形)だ-な/-である・(名)だ-である) +ばかりに

⚠ ①②③はそれだけのことが原因で、予期しないマイナスの結果になったということを表す。後には、話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない。

④⑤のように希望を表す「～たい」につくときは、後には、普通の程度ではないことを表す文が来る。特にマイナスのことでなくても良い。

5 ～からには・～以上(は)・～上は

⇒～のだから、あることをするのは当然だ・あることをしてほしい・あることをするつもりだ。

- ①留学するからには、ちゃんと目的があるのでしょうね。
- ②高いお金を払って外国旅行をするからには、大いに楽しまなければ損だ。
- ③自分一人でやると言った以上、みんなに助けてもらうことはできない。
- ④専門職である以上は、常に新しい知識を身につけなければならないと思う。
- ⑤オリンピック出場を目指す上は、中途半端な気持ちではだめだ。
- ⑥会社を辞めると決めた上は、覚悟して今後のことを考える必要がある。

普通形(ナ形)だ-である・(名)だ-である) +からには・以上(は)

動 辞書形/た形 +上は

⚠ 文全体で、一般的に当然と思われることを表す。後には、話者の判断・希望・意向などを表す文や働きかけの文が来る。

1

- 1 出発まで時間も十分()ことだし、ロビーでちょっとお茶でも飲みませんか。
 a ある b あります c あるの
- 2 今週は忙しかったことだし、()。
 a とても疲れた b メールもできなかった c 週末はゆっくり休みたい
- 3 このベッドは品質もいいことだし、()。
 a 値段が高い b これを買うことにしよう c よく売れた

2

- 1 海が好きな母のことだから、()。
 a 今ごろはハワイで楽しんでいるだろう b 海で遊ぶのをとても楽しみにしている
 c 海に行けて良かったと言っている
- 2 厳しい原田コーチのことだから、()。
 a 僕たちはとても緊張した b 試合に負けたらきつとすごく怒るよ
 c 僕は試合には負けたくないよ
- 3 栄養士の彼女のすることだから、食べ物には十分()。
 a 気をつけている b 気をつけてほしい c 気をつけているはずだ

3

- 1 みんなに期待されているだけに、()。
 a いい作品ができるように頑張れ b いい作品ができるかどうか心配だ
 c いい作品ができなかった
- 2 彼はクラスのリーダーだけに、()。
 a わたしは彼が好きだ b 頑張ってもらおう c 責任が重い
- 3 彼は営業の仕事をしているだけに、()。
 a ほかに人より話すのが上手だ b 営業マンと呼ばれている c 外回りの仕事をする
- 4 田中君は海に近い村で育っただけに、()。
 a 魚の名前をよく知っている b 魚の名前はあまり知らない
 c 海のお土産を持ってきてくれた

4

- 1 バスに()ばかりに、予定の新幹線に乗れなかった。
 a 乗り遅れの b 乗り遅れて c 乗り遅れた
- 2 木村氏は記者会見の時、一言多かったばかりに、()。
 a 信用をなくしてしまった b すっかり人気者になった c すぐに言い直した
- 3 外国で、その国の言葉が話せないばかりに、()。
 a ガイドを頼んで通訳してもらった b 外国語をしっかりと勉強しようと思った
 c 高い買い物をしてしまった
- 4 弟はジェットコースターに乗りたいたいばかりに、()そうだ。
 a 遊園地が好きなのだ b どの遊園地がいいか考えている
 c 2時間も並んで待った

5

- 1 A社の社長が来るからには、()。
 a 一緒にゴルフをしよう b 我々もしっかり準備をしよう c うちの社長は緊張している
- 2 君がそこまで言うからには、()。
 a 何か理由があるんだろうね b 僕はわかったよ c みんなが理解できたよ
- 3 入館料を1,000円払った以上、()。
 a おつりをもらえませんか b しっかり見学しよう c さあ、入館できる
- 4 子供を預かる上は、()。
 a 責任を持たなければならない b 楽しくなると思う c いろいろ準備をした

1~5

- 1 この町は人口が少ない()、個人的なことがみんなに知られてしまう。
 a ことだから b 以上は c だけに
- 2 外は寒い()、建物の中でタクシーが来るのを待ちましょう。
 a だけに b ことだし c からには
- 3 大きな仕事を引き受けた()、最後まで頑張らなければいけない。
 a だけに b ばかりに c からには
- 4 彼女はモデルになりたい()、無理なダイエットをしているそうだ。
 a ばかりに b からには c ことだし
- 5 ここは禁煙席()、ここでのたばこはご遠慮願います。
 a のことだから b ですので c だけに

- 〔復習〕 ・あの人の話は信じられない。
 ・この文は複雑でわかりにくい。
 ・社長室に一人ではちょっと入りづらいですよ。

1 ～がたい

⇒～することが難しい・～できない。

- ①あの優しい彼がそんなひどいことをしたとは信じがたい。
 ②この料理は何とも言いがたい初めての味だ。
 ③留学中、自分の国では得がたい経験をたくさんした。

㊦ 動 ます + がたい

⚠ 能力的にできないという意味では使わない。主に心の働きを表す動詞(想像する・理解する・信じるなど)や発言を表す動詞(言う・表すなど)につく。

2 ～わけにはいかない・～わけにもいかない

→25課-〔4〕

⇒社会的常識に反する・心理的抵抗があるなどの事情があつて、～できない。

- ①病気の子供を一人家において、仕事に行くわけにはいかない。
 ②いくらお金に困っていても、そんな大金をあなたから借りるわけにはいかない。
 ③もう終電は終わってしまった。会社に泊まるわけにもいかず、困っている。

㊦ 動 辞書形 + わけにはいかない・わけにもいかない

⚠ 能力的にできないという意味では使わない。主語はふつう一人称。

3 ～かねる

⇒その状況・その条件・話者の立場では～できない。

- ①メールでのご質問だけでは診断しかねます。一度病院にいらっしゃってください。
 ②あなたの気持ちも理解できますが、その案には賛成しかねます。
 ③子供が泣いているのを見かねて、結局宿題を手伝ってやった。

㊦ 動 ます + かねる

⚠ 能力的にできないという意味では使わない。丁寧に断る場合などに使う。

4 ～ようがない

⇒～したくても、どのようにしたらいいかわからない・可能性が全くない。

- ①彼の連絡先がわからないので、このニュースを知らせたくても知らせようがない。
 ②実力はあるのだから、今回の結果には運がなかったとしか言いようがない。
 ③選手たちの今日の試合での活躍はとて素晴らしく、文句のつけようがない。
 ④駅からここまではまっすぐ歩いてくるだけだから、迷いようがないと思うけどね。
 ⑤これだけしっかり準備したのだ。悪い結果になりようがないだろう。

㊦ 動 ます + ようがない

⚠ 方法が全くないという意味、または「～はずがない」という意味で使う。不可能であるというニュアンスを強調する。

5 ～どころではない

→12課-〔2〕

⇒～できる状況ではない。

- ①仕事が忙しくて、旅行どころではない。
 ②隣のテーブルの人たちがうるさくて、ゆっくり食事を楽しむどころではなかった。
 ③当時はお金がなかったのどこかへ遊びに行くどころではなく、毎日アルバイトをしていた。

㊦ 名・動 辞書形 + どころではない

⚠ 余裕がないという事情(お金がない・時間がない・うるさい・病気など)のため、期待していることや想像していることが全くできないという意味で使う。

6 ～得る／～得ない

⇒～できる・その可能性がある／～できない・その可能性がない。

- ①がんはだれでもかかり得る病気だ。
 ②経済の成長と環境保護は両立し得るはずだ。
 ③人間が100メートルを5秒で走るなんてあり得ない話だ。

㊦ 動 ます + 得る・得ない

⚠ 特定の人の日常的な能力(例:英語が話せる)や状況的可能(例:酒を飲んでいないから運転できる)について言うときは使いにくい。「得る(肯定形)」は「える・うる」の二つの読み方があるが、ここの使い方(補助動詞)では「うる」と読むことが多い。否定形は「えない」。



1

1 これは思い出のシャツなので、()がたい。

- a 捨てる b 捨て c 捨てて

2 うちの子供はまだ()。

- a 歩きがたい b 歩きにくい c 歩けない

3 この靴は()。

- a 歩きがたい b 歩きにくい c 歩けない

4 みんなの信頼を裏切るなんて、()ことだ。

- a 許しがたい b 許しにくい c 許しづらい

2

1 みんなが残って頑張っているのだから、わたしだけ()わけにはいかない。

- a 帰る b 帰れる c 帰らない

2 ()ので、今週末はドライブに行くわけにはいかない。

- a 急ぎの仕事を頼まれた b 天気が悪そうな c 車を持っていない

3 ()ので、早く結婚したくてもするわけにはいかないんです。

- a まだ相手がいない b 一人でいるのが好きな c まだ仕事が決まらない

3

1 せっかくですが、この仕事は()かねます。

- a 引き受ける b 引き受け c 引き受けられ

2 ()、こちらではお答えしかねます。

- a この問題はとても難しくて b それは個人情報ですから

c 質問の意味がわからないので

3 太郎は練習の厳しさに耐えかねて、()。

- a サッカー部を辞めてしまった b サッカー部に入りたがっている
c サッカー部のレギュラー選手になった

4

1 東京は人が多いので、渋滞や混雑は()ようがない。

- a 避ける b 避け c 避けられ

2 日本語の勉強を始めたばかりのトムさんには()だろう。

- a 難しい漢字は書けない b 難しい漢字の書きようがない
c 難しい漢字を書けようがない

3 おいしそうなお弁当だったけど、()ので、食べようがなかった。

- a はしもスプーンもなかった b おなかが痛かった c 時間がなかった

5

1 趣味はスキーだが、去年はずっと忙しくて、スキーに()どころではなかった。

- a 行く b 行ける c 行った

2 ()、仕事どころではない。

- a 内容が難しくて b 熱があつて c 給料が安くて

3 ()、この本を読むところではなかった。

- a 来客があつて b 字が小さくて c 眼鏡がなくて

4 のどが痛くて、()どころではない。

- a カラオケで歌う b 小さい声を出す c 薬を飲む

6

1 危機はチャンスにも()得る。

- a なる b なり c なれ

2 どんな場合でも事故は()。

- a 起これる b 起こることができる c 起こり得る

3 この子はまだ()。

- a 字を読み得ない b 字が読めない
c 字を読むことができ得ない

1~6

1 風邪を引いたので、学校に()。

- a 行けません b 行きかねます c 行きがたいです

2 夜遅くなり、わたしは子供の帰りを()、駅まで迎えに行った。

- a 待ち得なくて b 待ちようがなくて c 待ちかねて

3 サラダは野菜を切って混ぜるだけだから、だれでも()。

- a 失敗のしようがない b 失敗できない c 失敗しかねる

4 雨が降っているので、散歩に()。

- a 行きがたい b 行くわけにはいかない c 行けない

5 歌手になるのは難しいとわかっているが、会社も辞めてしまったのだから、()。

- a あきらめようがない b あきらめるわけにはいかない c あきらめがたい

19 課 ～を見て評価すると・～の立場で評価すると

〔復習〕 ・ 80 歳 という 年齢 を考えると、うちの祖父は若々しい。
・ 教師の立場から言うと、素直な生徒の方が扱いやすいのだろう。

1 ～わりに(は)

⇒～という基準から考えられる程度と違っている。

- ①このお菓子は値段のわりには量が少ない。
- ②この料理は安い材料で簡単にできるわりには豪華に見える。
- ③ゆき子さんは若いわりにはしっかりしている。

名 - の・動・形 普通形 (ナ形) だ - な / - である + わりに(は)

意味や程度に幅がある言葉 (年齢・値段・心配する・若いなど) につく。後には、予想される程度とは合わないという評価を言う文が来る。

2 ～にしては

⇒～という事実・標準から考えると、予想外だ。

- ①今日は2月にしては暖かかった。
- ②このかばんは、1,000円にしては丈夫で、デザインもいい。
- ③このケーキ、子供が作ったにしてはおいしくできていますね。

名・普通形 (ナ形) だ - である・名 だ - である + にしては

幅がなく、ある特定の事 (2月・1,000円・子供が作ったなど) につくことが多い。
後には、予想されることと違うという評価を言う文が来る。

3 ～だけ(のことは)ある

⇒～という条件から期待されたとおりだ。

- ①素晴らしいマンションだ。家賃が高いだけのことはある。
- ②彼は10年も日本に住んでいるだけあって、日本のことをよく知っている。
- ③さすががオリンピックだけあって、見事な試合が見られた。

名・普通形 (ナ形) だ - な + だけ(のことは)ある * 名 だの形には接続しない。

「～だけあって」の後には、評価が高いことを表す文が来る。未来や推量を表す文は来ない。

4 ～として

⇒～という立場・資格・役割・名目で、あることをする・ある状態である。

- ①彼は選手を引退した後、コーチとしてチームのために働いた。
- ②コーヒーはもともと薬として飲まれていた。
- ③京都は日本の歴史的な古い町として知られている。
- ④子供の安全に気をつけることは親として当然だ。
- ⑤写真は趣味じゃないんです。仕事としてやっているんです。

名 + として

後には、行為・状態を表す動詞、価値付けの言葉 (知られている・有名だなど) や判断・評価を表す言葉 (当然だ・恥ずかしいなど) が来る。

5 ～にとって

⇒(いろいろな考え方がある中で)～の考えでは、あることが言える。

- ①今のわたしにとって一番大切なのは家族です。
- ②現代人にとってパソコンはなくてはならない道具である。
- ③この小石はほかの人にとっては普通の石ですが、わたしにとっては宝物なのです。

名 + にとって

主に人を表す名詞につく。後には、その人がどう評価しているかを表す文 (主に形容詞の文) が来る。
動作を表す文は来ない。

6 ～にしたら・～にすれば・～にしてみれば・～にしても

→15課-〔6〕

⇒～の立場になってみれば・～の立場から言っても、あることが言える。

- ①君もいろいろ言われて面倒だろうが、君のお母さんにしたら、君のことが心配なんだよ。
- ②たばこを吸う人にすれば、たばこの害についての話題は避けたいだろうと思う。
- ③新しい高速道路ができて便利になったが、沿線の住民にしてみれば、あまりありがたくはないかもしれない。
- ④わたしは早く家を出たい。両親にしても息子には自立してほしいと思っているようだ。

名 + したら・にすれば・にしてみれば・にしても

ふつう、話者以外の人を表す言葉につく。後には、その人の立場に立って、その人の気持ちを推量して言う文が来る。



1

- 1 この寺は()わりには観光客が少ない。
 a 有名 b 有名な c 有名だ
- 2 ()わりにはいい成績が残せた。
 a 3時間練習した b たくさん練習した c あまり練習しなかった
- 3 期待したわりには()。
 a 点数に満足できた b 点数は良くなかった c 点数は80点以上だった
- 4 この事件は、新聞で騒がれたわりには()。
 a 知らない人が多い b 知らない人がいた c わたしは知らなかった

2

- 1 いつも派手な服を着ているさゆりさんにしては、()。
 a 服をたくさん持っている b 今日はすてきな服を着ている c 今日の服はシンプルだ
- 2 彼女は今日初めてテニスをしたのだそう。初めてにしては、()。
 a 上手だ b うまくない c 今日の試合で勝った
- 3 ジョンさんは試験に合格したにしては、()。
 a 大喜びしている b うれしくなさそうだ c 国へ帰ってしまった

3

- 1 たくさん練習しただけあって、()。
 a きっと素晴らしい発表だろう b 素晴らしい発表だった c 緊張はしなかった
- 2 あの学校は町の中心から離れているだけあって、()。
 a 静かで環境がいい b 遠くて不便だ c 通うのに時間がかかる
- 3 あの人は若いだけあって、()。
 a きっと困難を乗り越えられる b 考え方が子供っぽい c 仕事を覚えるのが早い

4

- 1 わたしは()として日本に来た。
 a 留学生 b 仕事 c 観光
- 2 新聞紙は()として再利用されます。
 a ごみ b 資源 c もったいない
- 3 彼は才能ある建築家として()。
 a 劇場の設計が専門だ b この劇場が代表作だ c 高く評価されている

5

- 1 父にとって()。
 a 仕事が好きだった b よく仕事を続けた c 仕事は人生そのものだった
- 2 君にとって()、考えたことはありますか。
 a 何が大切か b 何を大切にしているか c 大切にしているものは何か

6

- 1 わたしはフルタイムで働きたいし、夫()、そのほうが心強いだろう。
 a にしたら b にしても c にしては
- 2 わたしは商品の売り込みの電話はすぐ切ってしまうが、営業マンにすれば()。
 a なるべく長く話したいだろう b 早く話を終わらせたいだろう c それはありがたいことだろう

1~6

- 1 ここは幼稚園()、にぎやかな子供の声が聞こえない。
 a のわりには b にしては c だけあって
- 2 実験の回数()正確なデータは得られなかった。
 a にしたら b にとって c のわりに
- 3 子供のころのわたし()親は神様だった。
 a としては b にしては c にとっては
- 4 勉強時間()成績は上がらなかった。
 a のわりには b にしては c だけあって
- 5 この町はしょうゆの産地()有名である。
 a にとって b として c にしたら
- 6 農家の人()米の値段をもっと上げてほしいだろう。
 a にしては b にしたら c にとって
- 7 よう子さんは医学を勉強した()、健康についての知識が豊富だ。
 a わりに b にしては c だけあって
- 8 わたしは田中さんを先輩()尊敬しているが、結婚相手とは考えていない。
 a としては b にとっては c だけあっては

- 〔復習〕 ・窓を開けると雪が降っていた。
・電話で問い合わせたら、彼女はもう日本にはいないという返事だった。
・子供が朝家を出たまま、まだ帰ってこない。

1 ~たところ

⇒～してみたら、ある結果になった・ある状態がわかった。

- ①2、3日休みたいと課長に相談したところ、2週間休んでもいいと言われた。
②連絡がとれないのでリーさんのうちへ行ってみたところ、病気で寝ていた。
③この新商品を使ってみてみたいかどうか聞いてみたところ、80%の人が「使いたい」と答えた。

動た形 +ところ

- ⚠ 過去の一度だけの出来事について言う。後には、結果を表す文が来る。「～たら…た」という形の文に比べて、結果はどうだったかに重点を置いている。

2 ~きり

⇒～という動作の後、そのままずっと同じ状態が続く。

- ①その本は、子供のころ読んだきり、その後一度も読んでいない。
②父は朝、出かけたきりなんです。まだ戻ってきていません。
③日本は長寿国だが、寝たきりの老人の数も多い。
④彼に最後に会ったのは卒業式の時です。それきり、一度も会っていません。

動た形 +きり

- ⚠ 後には、次に予想されることが起きていない状態を表す文が来る。否定文が多い。④の「それきり」は慣用的な言い方。

3 ~あげく

⇒いろいろ～した後で、結局残念な結果になった。

- ①5時間に及ぶ議論のあげく、結局、結論が出なかった。
②いろいろ文句を言ったあげく、その客は何も買わずに帰った。
③さんざん悩んだあげく、国へ帰ることにした。

名-の・動た形 +あげく

- ⚠ 大変な状態が続いたという意味の文につく。後には、いい結果を表す文はあまり来ない。

4 ~末(に)

⇒いろいろ～した後で、最終的にある結果になった。

- ①数回におよぶ議論の末、Aの案を採用することにした。
②長い戦いの末、ついに勝利を勝ち取った。
③悩んだ末に、手術を受けようと決めた。

名-の・動た形 +末(に)

- ⚠ 大変な状態が続いたという意味の文につく。後には、結末や決断を表す文が来る。

5 ~ところだった

⇒～という状況になる一歩手前だったが、実際にはそうならなかった。

- ①あ、今日は15日か。うっかり約束を忘れるところだった。
②気をつけてくださいよ。気がつくのが遅かったら火事になるところでしたよ。
③朝寝坊して、危うく試験が受けられないところだった。
④ああ、残念だ。もう少しで100点取れるところだったのに、97点だった。

動辞書形/ない形 +ところだった

- ⚠ 「うっかり・危うく」などの副詞と一緒に使って、悪い状況になりそうだったことを表す文が多いが、④のように「～のに」を使って、いい状況の一歩手前だったことを表す文もある。自然現象など、(注意しても)避けられない事情を言う文には使いにくい。

6 ~ずじまいだ

⇒～ようと思っていたのに、結局できなかった・～ないで終わった。

- ①いろいろな人に聞いてみたが、結局田中さんの連絡先はわからずじまいだった。
②彼女にラブレターを書いたけれど、勇気がなくて出せずじまいだった。
③留学中に旅行したかったが、忙しくてどこへも行かずじまいで帰国した。

動辞書形 +ずじまいだ *例外 する→せず

- ⚠ 全体として、時期を逃してしまったという残念な気持ちを表す。過去形の文が多い。まだチャンスがある場合には使わない。



1

- 1 () ところ、気分が悪くなってしまった。
 a 買ってきた薬を飲んだ b 仕事で疲れた c 一日中暑かった
- 2 緊急の会議をするという連絡を受けて急いで会社に戻ったところ、()。
 a 会議はもうすぐ始まる b 会議はもう始まっていた c 会議に出ることにした
- 3 メールを送ったところ、()。
 a すぐに返事がもらえるだろう b すぐに返事が来た c 返事はまだだ
- 4 なかなか売れないので値段を下げたところ、()。
 a あっという間に売り切れた b 全部売り切れるはずだ c 全部売ってしまった

2

- 1 この果物は()きり、ずっと食べていない。
 a 国を出るとき食べた b 国では毎日食べた c 国では手に入らなかった
- 2 新しい本を買ったきり、()。
 a 汚してしまった b 2回しか読んでいない c ページを開いてもいない
- 3 友達にお金を貸したきり、()。
 a やっと返してもらった b 返してもらっていない c あした返すと言っている

3

- 1 彼は()あげく、弁護士になるのをあきらめてしまった。
 a 試験に落ちた b 妻と相談した c 10年も勉強を続けた
- 2 さんざん人に迷惑をかけたあげく、()。
 a 彼は成功した b 彼の姿が見えない c 彼はいなくなってしまった
- 3 わたしは()あげく、再婚はしないことにした。
 a 迷った b 離婚した c 彼と出会った

4

- 1 () 末に、やっと今の会社に落ち着いた。
 a 退職した b 転職を繰り返した c 就職した
- 2 () 末に、チベットに行くことにした。
 a その本を読んだ b あれこれ考えた c チベットの映画を見た
- 3 あちこち面接を受けた末に、()。
 a やっとこの会社に合格した b あの会社はどうしても入りたい c まだ就職が決まっていない

- 4 両親や先生とも話し合った末に、()。
 a 留学したい b 来年留学する c 留学することに決めた

5

- 1 あの時は危なかった。もう少しで() ところだった。
 a 死ぬ b 死んだ c 死にそうな
- 2 ぼんやりと歩いていて、() ところだった。
 a 車にぶつかる b 駅に着く c 昔のことを思い出す
- 3 危うく予定の電車に乗り遅れるところだったが、()。
 a タクシーで行った b なんとか間に合った c やはり遅れた
- 4 ああ、よかった。もう少しで() ところだった。
 a 雨が降る b 台風が来る c 携帯電話を忘れる

6

- 1 あの映画は()、忙しくて見ずじまいだった。
 a 見たかったが b 見ようと思っているが c まだ公開しているが
- 2 マレーシアに行ったらリーさんに会おうと思っていたが、会わずじまいで()。
 a 来週会うことになった b 帰国した c なかなか帰国できなかった
- 3 ()、結局買わずじまいだった。
 a 洋服屋を見て回ったが b 辞書が必要なのだが c 扇風機が安くなっているが

1~6

- 1 彼は一度メールをくれた()、その後連絡がない。
 a あげく b 末に c きり
- 2 カレーにちょっとワインを入れてみた()、とても味が良くなった。
 a ところ b きり c あげく
- 3 外国と日本とを行ったり来たりして迷った()、日本で仕事を探すことにした。
 a ところ b きり c あげく
- 4 母はさんざん苦労した()、ついに幸せを見つけた。
 a きり b 末に c ところ
- 5 ジョギングシューズを持ってハワイに行ったが、結局()。
 a はいたきりだった b はかずじまいだった c はくところだった

つぎ ぶん 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つえら

- [1] メール()コミュニケーションには、ある種の危険性が伴うと思う。
1 による 2 によって 3 といった 4 といって
- [2] 日本の歴史について知らないのでは、日本人()恥ずかしい。
1 といって 2 にしては 3 といっても 4 として
- [3] この映画は、難しいタイトル()内容はわかりやすい。
1 にしたら 2 にしても 3 のわりには 4 だけに
- [4] 赤ちゃん()寝ることは仕事だ。
1 のことだから 2 のことだし 3 にとって 4 によって
- [5] 本日は定休日()休業させていただきます。
1 につけて 2 につけ 3 について 4 につき
- [6] 間違っ
- [7] 自分でこの犬を飼うと()、責任を持って面倒をみなければならない。
1 言った以上 2 言った上に 3 言った末に 4 言った上で
- [8] 足の小指をぶつけて、()飛び上がった。
1 あまりの痛さに 2 あまりに痛さで 3 痛いあまりで 4 痛さあまりに



- [9] この天気では、今日はハイキングには()。
1 行き得ない 2 行けない 3 行きかねる 4 行きがたい
- [10] 山田さんとはだいぶ前に一度駅で()会っていない。元気だろうか。
1 すれちがったまま 2 すれちがったきり 3 すれちがった限りで 4 すれちがった限り
- [11] 明日は大切な試験の日なので、()。
1 休むわけにはいかない 2 休むというわけがない 3 休むことにはいかない 4 休むというものではない
- [12] 長時間いろいろと話し合ったあげく、()。
1 どんな結論でしたか 2 いいことを思いついた 3 結論は出なかった 4 会議は終わった
- [13] 上手に説明ができなくてもしかたがないよ。まだ()。
1 子供のことなんだ 2 子供のものなんだ 3 子供なんだこと 4 子供なんだもの
- [14] ああ、気がついて良かった。危うく降りる駅を()。
1 間違えるところだった 2 間違えたところだった 3 間違えるどころではなかった 4 間違えたどころではなかった
- [15] 辞書がなく
- [15] 辞書がなくその漢字が正しいかどうか()、うっかりそのままにしまいました。
1 確かめようがなかったところ 2 確かめるようにしなかったところ 3 確かめようがなかったもので 4 確かめるようにしなかったもので